

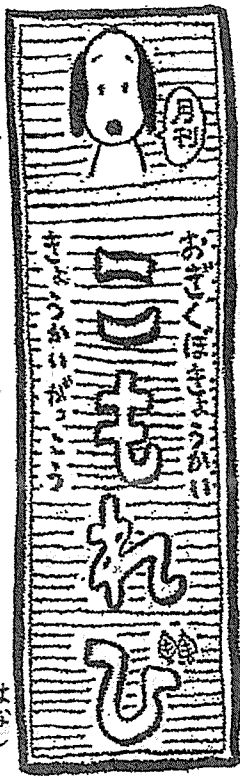
そこで息子トビアは天使と共に出発した。

トビアの犬も出て来て彼らについて行った。



# 聖書のお話(トビ記6章2節)

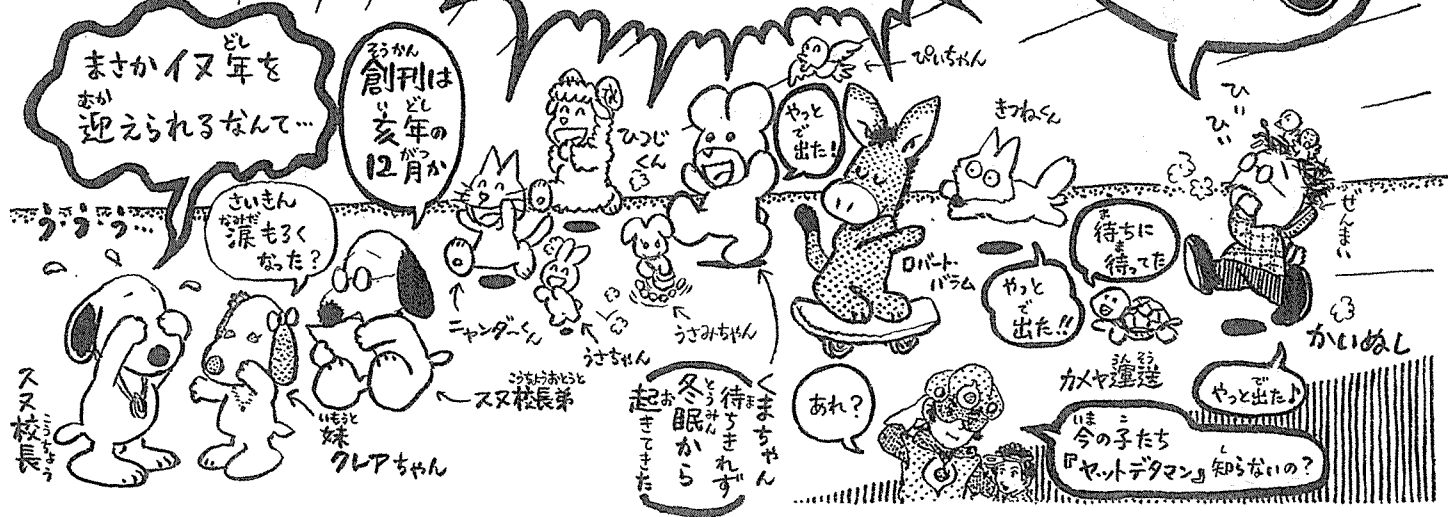
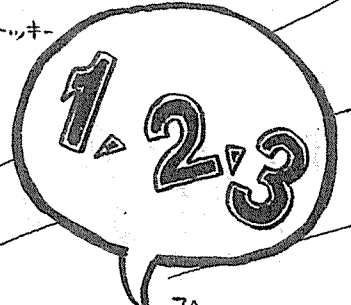
イヌ年なので、イヌの話。  
聖書の時代、番犬や牧羊犬はいましたが、  
野犬も多く、聖書の中では不潔なイメージです。  
けれども犬は、人間にとって身近な存在。  
聖ドミニコ(1170-1221)を描いた絵には、しばしば  
火のついた松明をくわえた犬が側にいます。  
疫病に苦しむ人々を助けて回った聖ロクス(1295-1327)は  
自らが倒れた時、犬に助けられました。  
フランス東部、ドンブ地方の伝説では、  
子どもを危機から救った聖ギヌフォルを称えますが、  
そのギヌフォルは聖人ではなく、実は犬です。  
犬は気ままに過ごしているようでいて  
いつも身近な人进行を思い、元気づけてくれます。  
犬(DOG)の綴りに神(GOD)を見る人もいます。



2018. 1, 2, 3  
合併号  
(通巻第108号)  
発行犬: スヌ校長

2018年  
平成30年

## イヌ年 おめでとう





# 大司教様とすごした1日

とうきょうきょうく  
東京教区の新しい教区長となられた  
きくち いさおだいしきょうさま  
菊地功大司教様が、な。な。なんと  
ちやくざしき おくじつ  
着座式の翌日12月17日(日)の朝、  
あきくぼきょうかい  
荻窪教会にいらっしゃいました。

この日ミサをしてくださる予定の  
きょうくじむきょう たかぎけんいしんぶさま  
教区事務局の高木賢一神父様と  
いっしょにきてくださったのです。



この日のミサで  
侍者をした子どもたちと

じかも

「きょうかいがっこうの  
クリスマス会に参加  
します」って

さあ、  
どうなったで  
しょうか



スヌこうちよう  
とりみだしてあります

ちゅうちく  
注目!

ぜんごう  
前号3ページの  
つづきだよ



以下、省略  
(要するに、みんなびっくり)

荻窪教会の  
香部屋に  
おられたのです

菊地大司教様

なんと  
前日に  
着座なされた



クリスマス期間中に最新号は6.7.8月合併号(第105号)でした

# きょうかい がっこう クリスマス会 2017



さて、前のページのような  
経緯から、新しい大司教  
様をお迎えしてのクリスマス会。  
いっしょに祈り、いっしょにお食事、  
いっしょに過ごした楽しいひととき  
を、ダイジェストでお届けします。

## 第2部

## 第1部

うたと祈り  
クリスマスのお話

イエスさまに  
ささげるプレゼント

Program  
No. 2

OGK 48は体力の限界?らしく  
出場辞退。SNP 48が  
急遽編成された

スズ校長の突然のお願いにもかかわらず  
こころよくOKして、子どもたちに  
お話しくださる菊地大司教さま

1. 赤鼻のトナカイ
2. あわてんぼうのサンタクロース
3. 主は水辺に立た

今年のクリスマスのお話は  
岡田ひかりさんが絵本を選んで  
みんなに聞かせてくれました

いまだに参加してくれた子どもたちの中から、一緒に企画してくれる子が出るなんて……

## 第1部

♪ 聖歌しずけき

♪ うまぎやのイエスさまに祈る

♪ 大司教さまのお話

♪ 聖歌グロリア

♪ イエスさまにプレゼント

♪ 主の祈り、アヴェ・マリアの祈り

♪ ひかりちゃんによる  
クリスマスのおはなし

## 第2部

♪ 聖歌あめのみつかいの

まずは

たのしくお食事!

それから

おたのしみ会☆

1 クイズ

2 SNP 48 演奏

3 福山家プレゼンツ

まちがいさがし



どうぶつ 宣教会 Presents

Program

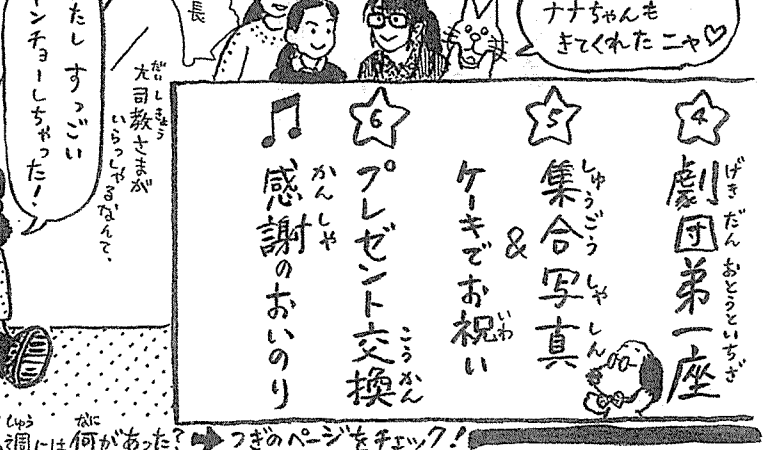
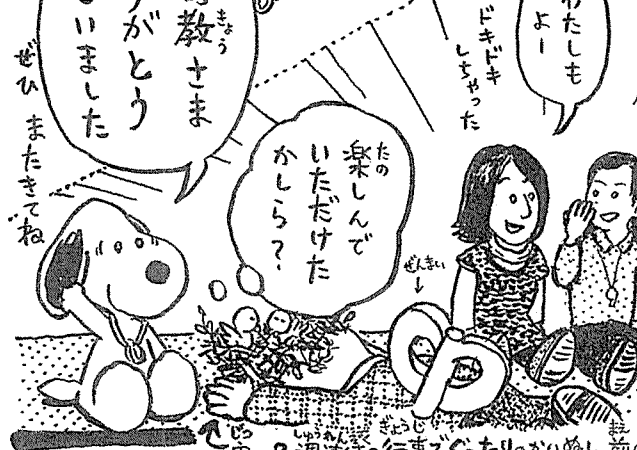
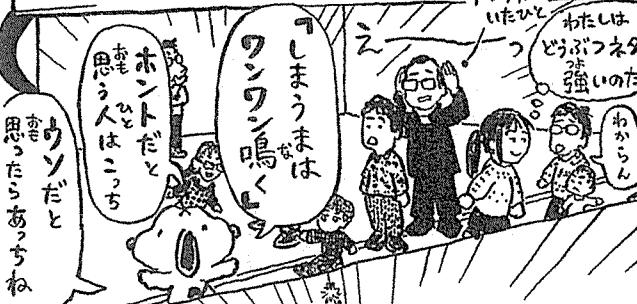
No. 4

SINCE 2015

一座



...というわけで 1問1問、クイズの種類をみんなで選ぶことに。



クリスマス会の前  
(3~5ページ)

わたしたちは昨年(2017年)3月に、長崎巡礼に行ってきたのですが、  
12月10日(日)のミサ後にようやくその報告会ができました。

2017年3月26~29日  
(3泊4日)

やっと  
でけた  
きょうかい  
がっこう

どうして3月の巡礼の報告会が12月なの？  
巡礼から帰ってきて、わたしたちは巡礼先で何を見、何を学び、どんなことを感じたのかを分かち合い、それを

文にしたり絵にしたり、いろんな形にまとめる作業を続けてきました。試行錯誤をくりかえしながら、発表の順序を考えていくのは、週一回のきょうかいが、大変なことでした。

わたしたちの巡礼の実現のため、たくさんの方々がご支援くださいました。特に、荻窪教会の皆さんに直接感謝の気持ち

だれに報告したのかニヤニヤ

持ちをお伝えするため報告会を開いたのです。  
※なお、荻窪教会以外からご支援くださった皆様かたには、巡礼アルバムをお届けして、ご報告に代えさせていただきます。

# 長崎巡礼報告会

2018年12月10日



ながら、上手に話してくれました♡

浦上 第1部		司会とまとめ: まき	
③ 永井隆のこと	② 原爆のこと	① 浦上天主堂のこと	開会のことば
けいや	おねはる	ひかり	あきひろ
		スズ	ちやう



まとめ 第4部	そと 外 海 第3部	おお 大 浦 第2部
<p>司会とまとめ: あきひろ</p> <p>③ 閉会のことは</p> <p>② ほかには訪ねた所や</p> <p>① 長崎でお世話になった方々</p> <p>① 西坂のこと</p> <p>② ほかには訪ねた所や</p> <p>③ 長崎でお世話になった方々</p>	<p>司会とまとめ: あきひろ</p> <p>Ⅱ 宣教再開後</p> <p>③ ドロ神父様の心くぼり</p> <p>② ドロ神父様の仕事</p> <p>① 今の外海</p> <p>③ バスチャン屋敷跡</p> <p>② 祈りの岩</p> <p>① 枯松神社</p> <p>Ⅰ 禁教の時代</p>	<p>司会とまとめ: むねはる</p> <p>③ 信徒発見のこと</p> <p>② コルベ神父様のこと</p> <p>① 大浦天主堂</p>
はるや	はるや	はるや



「取材班」栗林牧子さん、石川清子さん、斎藤菜穂子さんと。



斎藤さんは詩集も出していらっしゃるのよ

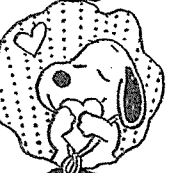
主任司祭・松尾 貢神父様からの  
(サレジオ会)  
たくさんの切手のご寄付も届けてくださり  
ありがとうございました☆

かわいいお花は  
スヌ校長退院の  
お祝いでして♡  
ありがとう!!

「こもれび」が紹介されました!

1月25日(日)、スヌ校長はなんと取材されちゃいました!  
鷺沼教会(横浜教区)から、教会広報誌「コムニオ」編集部の  
皆さんがサレジオ教会にお越しくださったのです。インタビューを  
さっそく素敵な記事に仕上げて、送ってくださいました。

スヌ  
校長



出

会

い

い

ろ

い

ろ

い

ろ

い

ろ

教会の活動報告や予定、お知らせはもちろん、エッセイあり、本の紹介あり...  
と内容満載の鷺沼教会広報誌 Communio (月刊)。  
☆ 第213号(2018年5月号)からは「こもれび」とのコラボレーション企画  
「れ子さんとおぼえる教会手話」のコーナーが連載されるんです!

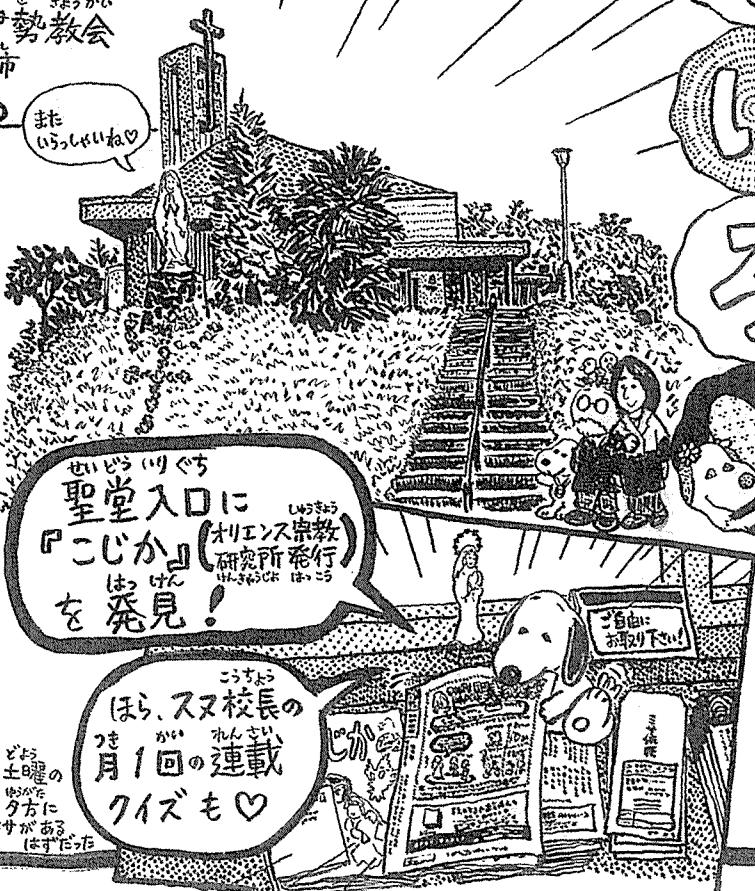
スヌ校長 不定期連載 第12回

こんな教会  
行ってきた!



カトリック伊勢教会  
三重県伊勢市  
(京都教区)

お伊勢さまの外宮から少し歩いた  
所にある伊勢教会。林の途中ここに  
ミサに与る計画でしたが、残念なことに  
ミサの時間が変更されていました(現在  
主任司祭が松阪教会との兼任のためらしい)。  
でも幸い聖堂に入る事ができ、ゆくり  
聖体訪問のひとつときを過ぎました。



聖堂入口に  
『こじか』(オリエンタル研究所発行)  
を発見!

ほら、スヌ校長の  
月1回の連載  
クイズも♡

MAR 17, 2018

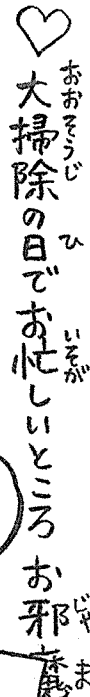


MAR 18. 2018

いちばん左が、きむら先生。  
ミサでの侍者が上手なゆうちゃん。みきさん、かたおかさん。



旅の計画をちよつと変えたり、神さまが素敵な出会いへと  
わたしたちを導いてくださいました！ 熱田教会でミサ、そして  
教会学校  
大掃除の日でお忙しいところお邪魔  
してきちやいました。



教会学校  
見学中♡

わあ、これ  
わかりやすい♡

教会学校  
見学中♡

1日  
1ページよ

スズ校長 不定期連載 第13回  
こんな教会  
行ってきた！  
カトリック熱田教会  
名古屋熱田区(名古屋教区)

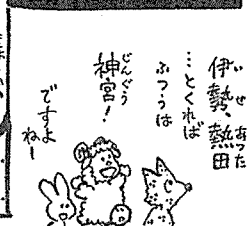
わからないことは  
神父様に尋ねたり、  
わたしも勉強しながら  
作っているのよ

ていねい  
書き  
ふりがな付き！

その日の福音や典礼に  
ついて、大事なポイントにしぼり  
わかりやすくまとめた手づくりの  
プリント。色をぬって楽しめる  
ようにワンポイントのイラストも！



不定期連載 ④  
コーヒーハウス  
ケンネル





# 40 “お知らせ”がある時は… (閉祭その1)



ミサ全体の流れを損ねることのないように、  
祈りの雰囲気や心を壊さないように、  
自立せず、できるだけ簡潔にまとめることが大切です。

## お知らせが 大人の方へ

- ▶ ミサが共同体の一致のしるしであることをふまえ、ミサ終了前に、必要に応じて“お知らせ”をすることが出来ます。
- ▶ ただし、ミサの本質である みことばと聖体の恵みを ぼやかしてしまわないように、結果にならないように、簡潔である配慮が重要です。
- ▶ そのために、たとえばお知らせをしたい人が個別にアナウンスするのではなく、教会からのお知らせとして代表者がまとめて告知するとか、長くなる話や詳細については掲示や印刷物を利用したり、ミサ終了後にアナウンスするなどの工夫が求められます。

このタイミングで「お知らせ」をするのは、ミサの後あまり長く教会に留まっていられない人々にも情報を提供するための配慮です。ミサ聖祭の豊かさを損ねないことが肝要なのです。



＊おめでとう＊  
1月・2月・3月  
＊生まれのおともたち＊

1月 ①大倉慶子 ②進あやも  
⑫ 恩曾ゆうづ ⑬綾ゆうた  
⑮ 大田せえ ⑯江崎たけ  
⑳ 勝田直樹 ㉑水野りい

2月 ④吉田はるま ⑤勝田明輝  
⑫ 岡田のぞみ ⑬黒田あき  
⑮ 橋本理希 ⑯鈴木がず  
⑲ 高田恵也 ㉑東野いのり

3月 ③ 福士なみ ⑩パーカ美羽  
⑪ 勝田博之 ⑬中村玲花  
⑭ 黒須祐貴

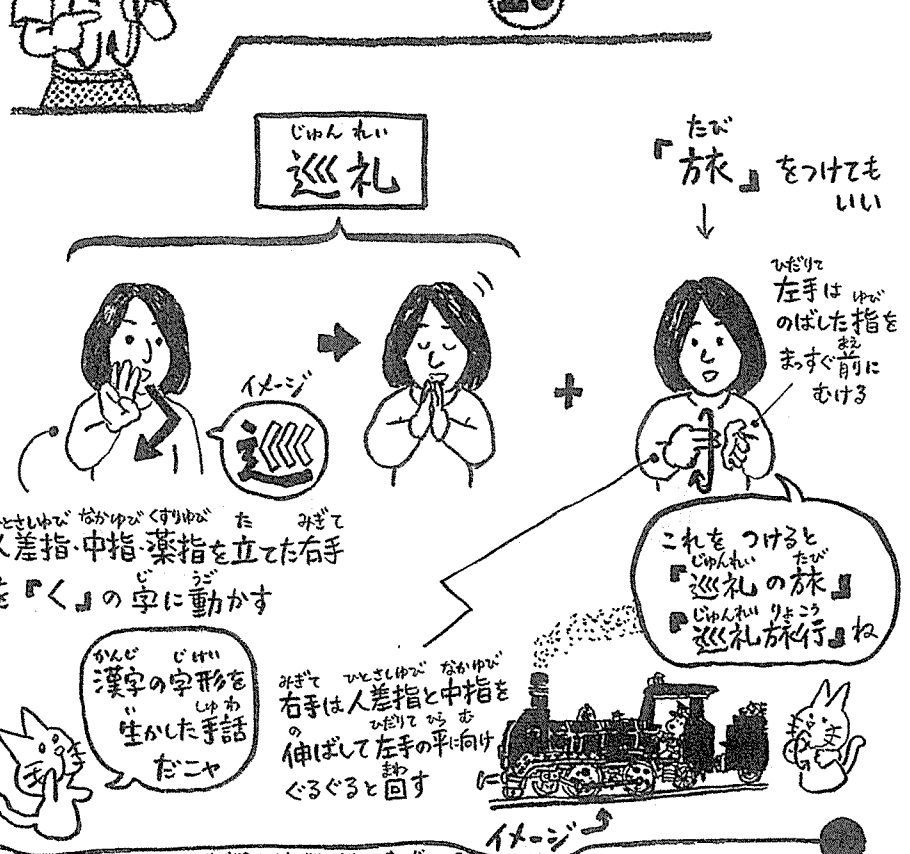
MANY 神さまのお恵み  
HAPPY ありますように  
RETURNS!

おてがみ。  
郵便切手  
のこぎ  
ありがとうごさいます  
2018. 2. 25.以降

藤原八重子さま、西脇艶子さま、  
落合和恵さま、佐藤治郎さま、Sr.鳥子さま、  
今村壽美子さま、末吉克久神父さま、  
井爪光子さま、Sr.蒲原佳枝さま、  
鷺沼教会Communion編集部皆さま、  
高瀬智子さま、高橋みきとんさん、  
匿名3件

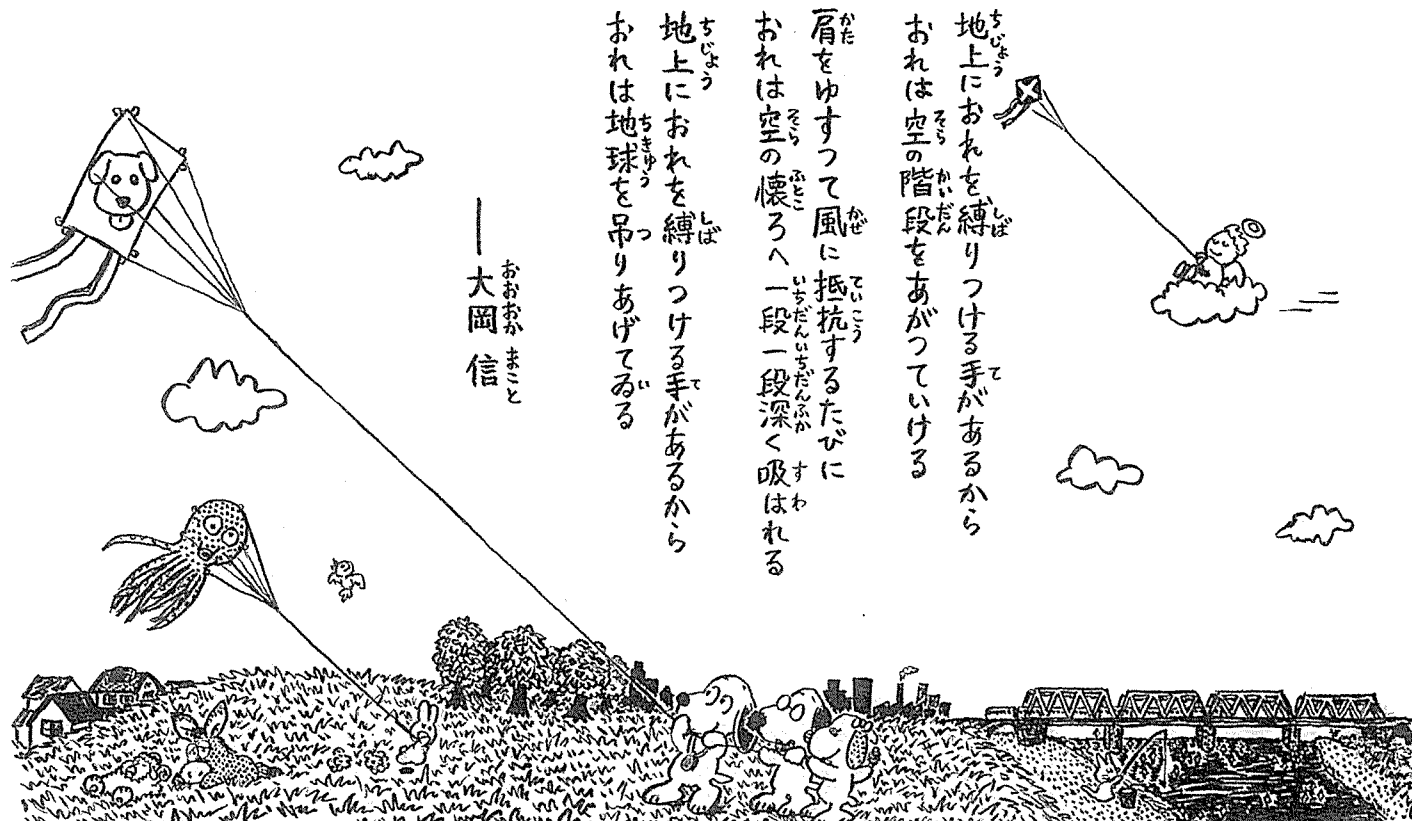
なるべく忠実に  
再現したつもりですが  
文字化するにはあたる  
文責はかいたに  
あるので何か  
あったらいいに  
言ってください。

礼子さんとあぼえる  
教会手話  
教会という手話表現



6, 7ページに長崎巡礼報告会の記事が載っているニャン☆

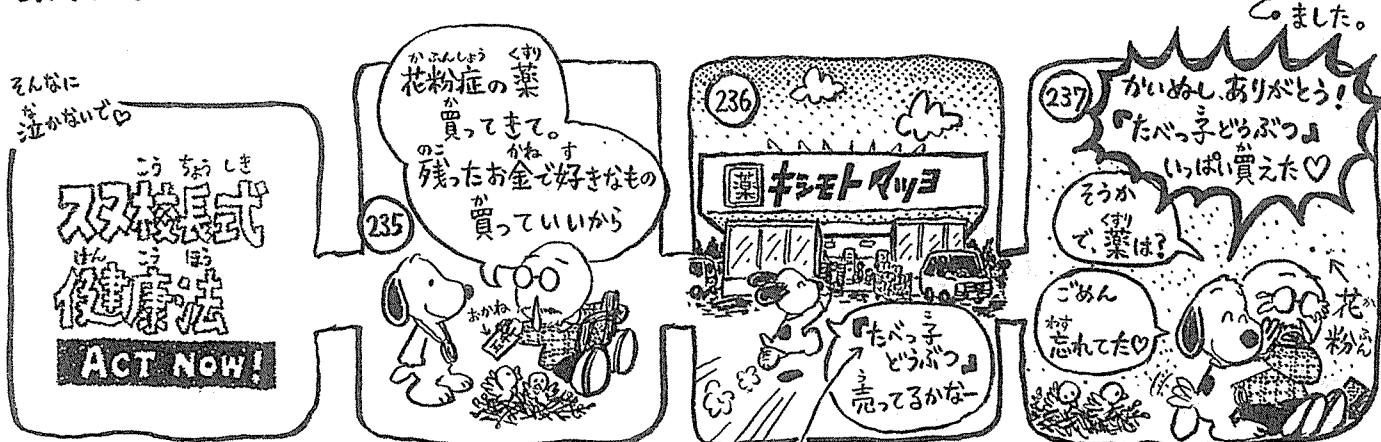
クリスマス会4ページ  
大司教さまのお話  
（要旨）  
イエスさまが人々に  
教え始められたのは  
30歳のときでした。  
神さまは全知全能、  
何でもできる方です。  
から、いきなり30歳の  
大人の姿で来られたこと  
で驚かされたはずですね。  
それなのにイエスさまは  
わがわが赤ちゃんと  
姿になつてこの世界に  
来られました。  
どうしてでしょうか？  
それは、子どもが  
神さまから祝福を  
受けているということ、  
子どもは大切ということ、  
いのちは大切ということ、  
赤ちゃんに始まって、  
成長していく一人一人が  
豊かに祝福されていて、  
とても大切な人たち、  
というメッセージが  
みんなに見えるように、  
イエスさまご自身も  
赤ちゃんとして生まれ、  
子どもとして育ち、  
そして30歳になるまで  
待たれたのです。  
救い主イエスさまの  
ご誕生というこの  
出来事をとおして、  
二千年間ずっと、  
子どもと神さまのよう  
に、神さまの恵みの  
うちに成長していく  
子どもたちとはとても  
大切な人たち、  
大司教さまがその  
祝福と、守りのうちに  
生きていくんだということ  
を、クリスマスはわたし  
たちに教えています。  
だからクリスマスは、  
ただ単に「イエスさま  
お誕生日おめでとう」  
というだけではなくて、  
神さまがいつも助け、  
守っていてくださることを  
思い出し、神さまに  
感謝する時でもある  
ことを心に留めておいて  
ください。



—— おおおかまこと  
大岡 信

地上におれを縛りつける手があるから  
おれは空の階段をあがっていきける  
肩をゆすつて風に抵抗するたびに  
おれは空の懐ろへ一段一段深く吸はれる  
地上におれを縛りつける手があるから  
おれは地球を吊りあげてゐる

大空に舞う凧が、空の高み、その懐の深さを満喫し、ついには自分が地球を吊り上げている感覚に達します。けれども  
凧は、それが地上でしっかり握ってしてくれる手のおかげだということを忘れてはいません。一見、自信に満ちあふれているようで、  
実に謙虚な姿勢です。これは『凧の思想』という詩です。作者の大岡 信さん（1931～2017）は日本を代表する  
詩人のひとりで、朝日新聞に 6762 回にわたり連載された名物コラム『折々のうた』の執筆者としても広く知られ  
ました。



月刊のこもれび 第108号（2018年1・2・3月合併号）  
〒168-0072 東京都杉並区高井戸東4-18-13  
もしも 03-3334-8216（FAX-8261）  
おまじまごかい 主任司祭＝岸 忠雄 神父  
カトリック荻窪教会 主日のミサ＝当会の間10:00のみ  
きょうかいかい 毎月第1・第2・第3日曜  
10時のミサ終了後  
http://www.kotonanoki.com/

